

参加無料

先着20名

挙母神社の 匂い桜と和歌

知られざる地域の歴史を紐解く



講師

中川
豊
氏
中京大学文学部准教授

当館スタッフ撮影
(挙母神社 撮影掲載許可)

3月20日(日)

14時～15時半 (13時半開場)

豊田市中心図書館 6階多目的ホール

2月5日(土)10時申込開始 窓口・電話・HPにて

〒471-0025 愛知県豊田市西町1-200 豊田参合館内
TEL0565-32-0717 <https://www.library.toyota.aichi.jp/>



講座の概要

「匂ふ」とは、本来美しい色に輝く、の意味です。ですが拳母の匂い桜は、実際に香りがしていたようで、鎌倉時代の宮廷歌人源具氏（?—1287）が詠出したことによって、次第に拳母の名所として知られていきました。拳母神社境内では、その流れを汲む桜木が毎年花を咲かせます。開花が他の桜よりも早いようです。江戸時代末期、梅坪に住んでいた太田道貴（1789—1865）は、匂い桜を詠んだ和歌を広く募集します。地元の三河、尾張は言うに及ばず、北は越後（新潟県辺り）、南は豊前（福岡県辺り）から、計 301 首の歌が集まります。道貴がそれを編纂して出版したのが『艶櫻和歌集』です。今で言う私家版で、出版流通した本ではありません。この講座では、実際に当時刊行された版本（木版刷りの本）を手に取りながら、幕末の歌壇の様相に基づき該書成立の経緯を考え、秀歌を拾い上げて鑑賞し、歌の魅力に迫りたいと思います。



会場までのアクセス

●電車でお越しの方

名鉄三河線「豊田市駅」改札を出て左手に進み徒歩 2 分

愛知環状鉄道「新豊田駅」改札を出て左手に進み徒歩 5 分

●お車でお越しの方

豊田参合館地下駐車場をご利用ください（3 時間無料）。

満車の場合は付近のフリーパーキングをご利用ください。

新型コロナウイルスに関するご案内

- ・マスク、着用、手指消毒、検温のご協力をお願いします。
- ・当日体調の優れない方は来場をお控えください。
- ・開催中止または延期になった場合、ホームページ上でお知らせするとともに、参加申し込みされた方には個別にご連絡いたします。